新宮×富郷ブレンド茶特集

お茶のブランド化へ一歩一歩！

～ブレンドほうじ茶がまもなく完成～

豊かな自然に囲まれ、のびのびと育つ茶葉。新宮と富郷では、同じ品種の茶葉が育てられていますが、標高や土壌、手入れの方法の違いなどから、それぞれの香りや味に特徴があります。

新宮茶の「上品な甘味と香気」　富郷茶の「野性味あふれる芳醇な味わい」

この２種類の茶葉をブレンドすることで、それぞれの特性を生かし合い、ほのかな甘味と、すっきりとした後口が魅力的な、お茶どころ四国中央市のほうじ茶が完成間近です。

自然が育む「お茶どころ」

四国中央市の山間地域である新宮・富郷は、四国山脈と法皇山脈の山峡を縫う銅山川流域で、季節を問わず発生する深い霧と山間地特有の寒暖差といった自然の恩恵により、品質の良いお茶が生産できる条件が揃った地域です。

新宮では昭和29年から、富郷では昭和32年から、茶の品種「やぶきた」を導入。その後、昭和50年頃には、県の集団茶園事業で事業を拡大し、現在では、県内の茶葉生産量のうち約４割を占める、県下最大の「お茶どころ」に成長しました。

また、新宮茶は品評会において「香り日本一」と評価されており、茶産業の振興に尽力された脇製茶場社長の脇斗志也さんが、第70回愛媛新聞賞・農林水産部門を受賞されるなど、本市の茶産業に注目が集まっています。

支え合いながら産地を守る

近年、本市における茶産業は、高齢化や担い手の不足により、労働力の確保が難しくなってきました。地元に根付いた茶産業を守るため、「繋がり」に注目し、農作業支援センターや、福祉事業所などと連携することで、新茶の摘み取り作業や茶葉の選別・袋詰めなどを委託できるようになるなど、地域ぐるみで労働力を補いながら、支え合う仕組みが構築されはじめています。

うま茶振興協議会の設立

産地を守るため、さまざまな取り組みを推進するものの、担い手不足や、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、茶葉の生産量や販売量は減少しています。

そこで、地域資源を活用した安心・安全な茶産地づくりをはじめとした茶業振興を図るため「茶工場」「生産者」「行政」が協働し、昨年２月に「うま茶振興協議会」を設立。これを契機として、新宮・富郷の、それぞれの茶葉の特性を生かしたブレンド茶を作るアイデアが生まれました。

昨年５月、同協議会は、特上煎茶のブレンド茶を商品化し、茶業振興イベントでの販売や、敬老会の記念品として配布するなど、ブレンド茶の認知度向上だけでなく、茶文化の醸成に向けた取り組みを地道に続けています。

新宮×富郷ブレンド茶のブランド化に向けて使用される予定のデザイン

このデザインは、新宮・富郷地区の風土や情景をもとにデザインされており、
山にかかる霧を羽衣のようにふわりと表現しています。
お茶の色、澄んだ空気の色、温かい人の色、
それぞれの色が重なり合い作られているのが今回のブレンド茶です。
ブレンド茶がどんな名前になるか予想してみてくださいね。

新商品は人気の「ほうじ茶」

ほうじ茶は、煎茶や番茶など、緑色の茶葉を焙煎したものです。焙煎する過程において、カフェインが減少することで、子どもからお年寄りまで、どなたでも安心して飲めるお茶として親しまれています。また、近年では、独特の香ばしい香りを生かした、ほうじ茶スイーツなどの人気が急上昇しているほか、ほうじ茶の成分によるリラックス効果をはじめ、冷え性改善効果や、ダイエット効果なども期待されており、多くの注目を集めています。

新宮・富郷の茶葉は、生育に関して好条件が整った自然環境の中、大きく、しっかりとした、香りのよい茶葉に成長します。このような茶葉の特徴は、ほうじ茶の製造に向いているため、ブレンド茶の新商品には、ほうじ茶が選定されました。

完成の春が待ち遠しい

茶は冬の間、厳しい寒さに耐え、じっと芽吹きの時期を待っています。ブレンドほうじ茶は、この春に育つ新宮・富郷の新茶を加工・ブレンドし製造されます。

うま茶振興協議会では、パッケージや販売方法など、商品化に関する協議を重ね、６月の発売に向けた準備を進めています。

新茶の季節はもうすぐです。ブレンドほうじ茶の完成を、楽しみにお待ちください。

茶業支援研修 参加者募集

高齢化や人口減少により、茶業の担い手が減少しています。新宮・富郷の茶園で、茶業の技術を身につけてみませんか！

日　４月下旬から５月中旬の２日間
　　７時30分～16時
※午前・午後のみの参加も可（要相談）
場　新宮・富郷地域内の茶園（希望地要相談）
内　茶畑で茶袋の搬送、茶加工場の作業、茶摘み補助など
対　20歳以上で体力に自信のある方（市外可）
定　４名程度
持　昼食、飲み物、タオルなど
募　３月18日（金）17時まで
助成措置　１日につき交通費２千円を助成
※事務局負担で傷害保険に加入
申　電話または、住所、氏名、電話番号、年齢を明記のうえ、ファクス・Eメールで申し込みください。
申問　うま茶振興協議会事務局（農業振興課内）
　　28・6323　FAX 28・6126
✉ cha. kensyu@city. shikokuchuo. ehime. jp